

平成23年行政事業レビューシート

( 警察庁 )

<b>事業名</b>	犯罪捜査の在り方に関する調査研究		<b>担当部局</b>	刑事局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度～平成23年度		<b>担当課室</b>	刑事企画課		刑事企画課長 島根 悟		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	2 犯罪捜査の的確な推進				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)			<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	犯罪情勢が依然として予断を許さない一方、社会構造の変化に伴う捜査環境も著しく変化する中で、新たな捜査手法や取調べの可視化の在り方について検討するに当たり、諸外国の制度と我が国の制度の差異を踏まえつつ実態を把握することにより、これらの法制度が我が国の犯罪捜査やひいては治安に如何なる影響を与えるかについて検討することが可能となる。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	新たな捜査手法、取調べの可視化の在り方等を含む我が国の捜査の在り方を検討するため、我が国で一般に行われていない捜査手法を導入している国や、取調べの可視化を導入している国等における司法取引などの捜査手法に係る法制度・運用状況、捜査における取調べの役割、それらを前提とした警察当局による犯罪捜査・検察当局による公判維持の在り方などを含む刑事司法制度はもとより、制度の社会的背景を正しく理解し、比較・研究を行うことにより、我が国の刑事司法制度等との相違点を的確に把握する。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	0	0		
		繰越し等	-	-	0	0		
		計	-	-	27	21	-	
	執行額	-	-	11				
	執行率(%)	-	-	41%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	(成果目標) 新たな捜査手法や取調べの可視化の在り方についての検討結果のとりまとめ		成果実績	件	-	-	1	1
	(成果指標) 中間取りまとめ及び最終とりまとめの数		達成度	%	-	-	100%	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	有識者を含めた研究会の開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	-	11 ( 11 )	- ( 12 )
<b>単位当たりコスト</b>	11,279千円/年		算出根拠	年間執行額				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝金	3	-					
	物品購入費	0.2	-					
	委託費	17.3	-					
	計	20.5	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>1 支出先・用途の把握水準・状況 本調査研究に必要となる役務・委託等の契約は、警察庁において契約しているので、支出先については把握している。</p> <p>2 見直しの余地 本調査研究に必要となる役務・委託等の契約に当たっては、一般競争入札を実施するなど、予算の適正な執行に努めた。なお、現在実施している調査研究は、平成23年度末で終了する予定であるが、引き続き類似の経費についても、競争性を担保した執行に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>1 支出先・用途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p> <p>2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。</p> <p>3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(事業の終了)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

警察庁  
11百万円

〔犯罪捜査の在り方に関する調査研究に  
必要な役務・委託等経費を直接執行〕



<委託費>  
【一般競争入札等・随意契約(少額その他)】

A.民間会社等  
(17者)  
11百万円

〔警察庁との契約に基づき、委  
託された通訳・翻訳業務等の  
役務等を提供〕

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(株)日本リトリーバル			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	海外文献の翻訳業務を委託	4			
計		4	計		
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.民間会社等

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本リトリーバル	翻訳業務委託	4	6	
2	メディカルシステムコンサル タント(株)	翻訳業務委託	4	6	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

# 捜査手法、取調べの高度化への対応

犯罪捜査の在り方に関する調査研究

## 我が国の犯罪捜査

取調べの可視化が課題



- ・取調べの比重が大
- ・新たな捜査手法導入の余地  
司法取引、おとり捜査、  
DNAの活用、通信傍受等



重要凶悪事件において自白が得られず、捜査が困難・長期化



治安水準を落とすことなく可視化を実現するために  
我が国の捜査の在り方を見直す必要

## 国家公安委員会委員長主催の研究会

諸外国の捜査機関、  
研究機関等における  
実地調査

報告

有識者から構成される研究会  
〔学者、裁判官OB、検事OB  
弁護士、警察OB、マスコミ関係者〕

ヒアリング

犯罪被害者  
外国実務家  
等